# 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日


上場会社名　株式会社やまびこ　　上場取引所　東
コード番号　6250　URL　http://www.yamabiko-corp.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 永尾　慶昭
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 瀬古　達夫　TEL 0428-32-6111

四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 47,265 | 3.6 | 2,700 | 19.0 | 2,396 | 34.4 | 1,597 | 86.3 |
| 23年3月期第2四半期 | 45,631 | 5.4 | 2,268 | 169.0 | 1,783 | 343.3 | 857 | ― |

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　1,507百万円　(685.7%)　23年3月期第2四半期　191百万円　(―%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第2四半期 | 166.53 | ― |
| 23年3月期第2四半期 | 78.83 | ― |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年3月期第2四半期 | 76,448 | 25,325 | 33.0 | 2,627.59 |
| 23年3月期 | 73,690 | 24,300 | 32.7 | 2,510.90 |

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　25,203百万円　23年3月期　24,085百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | ― | ― | ― | 35.00 | 35.00 |
| 24年3月期 | ― | ― | | | |
| 24年3月期(予想) | | | ― | 35.00 | 35.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 85,000 | 1.9 | 2,300 | △20.3 | 2,100 | △18.3 | 1,400 | 6.8 | 145.95 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期2Q | 11,027,107 株 | 23年3月期 | 11,027,107 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期2Q | 1,435,300 株 | 23年3月期 | 1,434,683 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期2Q | 9,592,045 株 | 23年3月期2Q | 10,876,284 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報等 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、国内においては、農業機械市場が、東日本大震災およびその後の原発問題の影響などで春季シーズンにおける需要の落ち込みが回復しないまま推移したため低調でしたが、建設機械市場は東日本大震災の復旧・復興需要の拡大が継続しました。

海外における小型屋外作業機械市場は、世界的な景気減速による市況の冷え込みに加え、北米市場における南部の記録的な干ばつや欧州市場での天候不順などのマイナス要素を抱えて軟調でしたが、継続してロシアなどの新興市場の成長が拡大したことなどで、全体では底堅く推移しました。

また、為替相場は、前年同四半期に比べて対ユーロはほぼ同水準となりましたが、対ドルは記録的な円高水準で推移しました。

このような環境の下、当社グループは、平成23年８月11日に平成26年３月期までの３ヶ年を環境の変化に柔軟に対応しながら、統合シナジーの最大化を完結させて着実な成長を果たすとともに、次なる成長フェーズに向けた体制整備期間と位置付けた「中期経営計画2014」を策定し、更なる事業の拡大と企業価値の向上に向けて中長期的な視点に立った取り組みを開始しました。

当第２四半期連結累計期間は、生産面において、震災の影響によって生じた生産および物流体制の混乱をいち早く立直すことで製品・部品の安定供給に努める一方、中国生産子会社の生産スペース拡張を行うなど海外生産能力増強のための体制整備を図りました。

販売面においては、国内外ともに今期より開始した各販促キャンペーンを強力に推進するとともに、海外新規市場への進出を図るなど積極的に拡販活動を展開しました。

また、進行する円高への対策として、海外生産移管および海外調達の拡大を行うなど製造コスト低減のための促進を図りました。

以上のような事業活動を展開した結果、当第２四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は、次のとおりとなりました。

［売上高］

当第２四半期連結累計期間の売上高は、海外が大幅な円高や天候不順などの影響により減収となりましたが、国内一般産業用機械が大きく伸長したことなどにより472億65百万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。その内訳は、国内売上高が204億54百万円（同12.4%増）、米州の売上高は202億84百万円（同6.8%減）、米州以外の海外売上高は65億26百万円（同15.1%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

①　小型屋外作業・農業用管理機械

売上高は、342億15百万円（前年同四半期比1.1%減）となりました。

・小型屋外作業機械

国内は、ホームセンタールートでチェンソーが伸長したことや建設業向けのエンジンカッターが好調でしたが、主力の刈払機が春先の低迷から復調しないまま販売シーズンを終了したことなどで売上高は、ほぼ前年同期並みとなりました。

海外は、ロシアが依然好調を維持したことやオセアニアが堅調に推移したことなどで米州以外の海外は円高にもかかわらず伸長したものの、主力の米州市場において、円高に加え、景気の先行き不安や干ばつなどの天候不順の影響により主に刈払機の販売が落ち込み、売上高は前年同期に比べて減少しました。

その結果、売上高は251億84百万円（前年同四半期比2.5%減）となりました。

・農業用管理機械

国内は、スピードスプレーヤなどの大型防除機類が風評被害などによる農家の購買意欲低下などの影響で販売が伸び悩んだものの、セット動噴が安定的に推移したことやラインナップの拡充効果で畦草刈機が伸長したことなどにより売上高は前年同期並みを確保しました。

米国の農業機械製造および販売子会社は、引き続き大豆、ジャガイモの価格上昇を背景に大型収穫用機械が好調で、売上高は前年同期を上回りました。

その結果、売上高は90億31百万円（前年同四半期比2.8%増）となりました。

②　一般産業用機械

東日本大震災の復旧・復興に資する機械需要が建機レンタルルート向けを中心に伸長したことや非常時における予備用機材としての発電機需要の高まりに加えて、農機ルートでの販売が増加したことなどで、主力の発電機、溶接機、投光機が活発な動きを見せました。

その結果、売上高は前年同期に比べて大きく伸長し、49億56百万円（前年同四半期比88.9%増）となりました。

③　その他

国内はアフターサービス用部品を中心に堅調に推移しました。

海外は、北米市場において刈払機用ナイロンカッターなどのアクセサリー販売が好調で伸長したものの、円高の影響により為替換算後の売上高は前年同期を下回りました。

その結果、売上高は80億93百万円（前年同四半期比3.7％減）となりました。

［損　益］

営業利益は、円高による利益の目減りがありましたが、売上の増加や原価率の改善などにより前年同四半期に比べて増益となる27億円（前年同四半期比19.0％増）となりました。

経常利益は、23億96百万円（前年同四半期比34.4％増）、四半期純利益は15億97百万円（前年同四半期比86.3％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①　資産

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて27億57百万円増加し764億48百万円となりました。

その主な要因は、商品及び製品が５億22百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が41億30百万円増加したことなどによるものです。

②　負債

当第２四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて17億32百万円増加し511億22百万円となりました。

その主な要因は、借入金が７億89百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が21億21百万円増加したことなどによるものです。

③　純資産

当第２四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて10億25百万円増加し253億25百万円となりました。

その主な要因は、四半期純利益により利益剰余金が12億52百万円増加したことなどによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.3ポイント増加し、33.0％となりました。

④　キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動によるキャッシュ・フローが15億７百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが６億66百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが11億１百万円の支出となりました。その結果、当第２四半期連結会計期間末の資金残高は37億52百万円となりました。当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における営業キャッシュ・フローは、売上債権の増加による支出42億２百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益23億83百万円、減価償却費12億96百万円、仕入債務の増加額19億35百万円等により、15億７百万円の収入（前年同四半期は７億38百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の売却による収入３億95百万円があったものの、有形及び無形固定資産の取得による支出９億31百万円、投資有価証券の取得による支出１億４百万円等により、６億66百万円の支出（前年同四半期は58百万円の収入）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入３億３百万円があったものの、長期借入金の返済による支出９億98百万円、配当金の支払額３億35百万円等により11億１百万円の支出（前年同四半期は６億93百万円の収入）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの主力製品である小型屋外作業機械および農業用管理機械の需要は、北半球における春から初夏までに偏っております。そのため、第２四半期累計期間に比べて第３四半期および第４四半期の半年間は売上高および利益の水準が低くなると見込まれます。

加えて、当社グループの売上の半分以上が米ドルを中心とする外貨によるものであるため、為替相場の動向によっては、業績に大きく影響がおよぶ可能性があります。

当期における今後の見通しにつきましては、長引く円高の行方や欧米経済の減速懸念など先行が極めて不透明

なため、それらが当社業績へ与える影響を見通すことが難しい状況にありますが、当第２四半期連結累計期間の経営成績がほぼ予想どおりの結果となりましたことから、平成23年８月11日に発表した通期連結業績予想を据置いております。

なお、本業績予想の前提となる通期の輸出為替レートは１ドル78円（前回発表は、80円）、１ユーロ111円（前回発表は、115円）としております。

## ２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## ３．四半期連結財務諸表
### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年３月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,053 | 3,752 |
| 受取手形及び売掛金 | 14,261 | 18,392 |
| 商品及び製品 | 21,450 | 20,928 |
| 仕掛品 | 935 | 992 |
| 原材料及び貯蔵品 | 5,735 | 5,845 |
| その他 | 1,902 | 1,677 |
| 貸倒引当金 | △259 | △117 |
| 流動資産合計 | 48,079 | 51,471 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 8,009 | 7,629 |
| 土地 | 8,918 | 8,702 |
| その他（純額） | 5,139 | 5,107 |
| 有形固定資産合計 | 22,067 | 21,439 |
| 無形固定資産 | 575 | 518 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 3,997 | 4,034 |
| 貸倒引当金 | △1,027 | △1,015 |
| 投資その他の資産合計 | 2,969 | 3,018 |
| 固定資産合計 | 25,611 | 24,976 |
| 資産合計 | 73,690 | 76,448 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 15,295 | 17,416 |
| 短期借入金 | 18,238 | 18,148 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,222 | 2,021 |
| 未払法人税等 | 284 | 532 |
| 引当金 | ― | 507 |
| 製品保証引当金 | 648 | 682 |
| その他 | 3,321 | 3,123 |
| 流動負債合計 | 40,009 | 42,432 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,406 | 2,907 |
| 退職給付引当金 | 3,688 | 3,533 |
| 環境対策引当金 | 34 | 34 |
| その他 | 2,250 | 2,214 |
| 固定負債合計 | 9,381 | 8,690 |
| 負債合計 | 49,390 | 51,122 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年３月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,000 | 6,000 |
| 資本剰余金 | 9,584 | 9,584 |
| 利益剰余金 | 12,296 | 13,549 |
| 自己株式 | △1,467 | △1,468 |
| 株主資本合計 | 26,413 | 27,664 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 303 | 252 |
| 繰延ヘッジ損益 | △7 | △0 |
| 為替換算調整勘定 | △2,622 | △2,713 |
| その他の包括利益累計額合計 | △2,327 | △2,461 |
| 少数株主持分 | 214 | 122 |
| 純資産合計 | 24,300 | 25,325 |
| 負債純資産合計 | 73,690 | 76,448 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 45,631 | 47,265 |
| 売上原価 | 33,117 | 34,111 |
| 売上総利益 | 12,513 | 13,153 |
| 販売費及び一般管理費 | 10,244 | 10,453 |
| 営業利益 | 2,268 | 2,700 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 34 | 19 |
| 受取配当金 | 48 | 42 |
| その他 | 154 | 174 |
| 営業外収益合計 | 238 | 235 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 223 | 177 |
| 為替差損 | 482 | 336 |
| その他 | 17 | 25 |
| 営業外費用合計 | 722 | 539 |
| 経常利益 | 1,783 | 2,396 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 9 | － |
| 固定資産売却益 | 19 | 65 |
| その他 | － | 6 |
| 特別利益合計 | 29 | 72 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 190 | － |
| 固定資産除売却損 | 9 | 14 |
| 減損損失 | － | 63 |
| その他 | 60 | 8 |
| 特別損失合計 | 260 | 85 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,552 | 2,383 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 728 | 757 |
| 法人税等調整額 | △44 | △5 |
| 法人税等合計 | 684 | 751 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 868 | 1,631 |
| 少数株主利益 | 10 | 34 |
| 四半期純利益 | 857 | 1,597 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 868 | 1,631 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △230 | △51 |
| 繰延ヘッジ損益 | △20 | 7 |
| 為替換算調整勘定 | △425 | △79 |
| その他の包括利益合計 | △676 | △123 |
| 四半期包括利益 | 191 | 1,507 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 203 | 1,463 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △11 | 44 |

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,552 | 2,383 |
| 減価償却費 | 1,427 | 1,296 |
| 減損損失 | － | 63 |
| 退職給付引当金の増減額（△は減少） | △222 | △155 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △42 | △154 |
| 受取利息及び受取配当金 | △83 | △61 |
| 支払利息 | 223 | 177 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | 468 | 507 |
| 投資有価証券評価損益（△は益） | 190 | － |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △3,675 | △4,202 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | 2,159 | 257 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △1,464 | 1,935 |
| 未収消費税等の増減額（△は増加） | 26 | 407 |
| その他 | △562 | △419 |
| 小計 | △2 | 2,036 |
| 利息及び配当金の受取額 | 83 | 61 |
| 利息の支払額 | △183 | △176 |
| 法人税等の支払額 | △635 | △398 |
| 災害損失の支払額 | － | △14 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △738 | 1,507 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有価証券の売却による収入 | 210 | － |
| 投資有価証券の取得による支出 | － | △104 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 300 | － |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △1,062 | △931 |
| 有形及び無形固定資産の売却による収入 | 35 | 395 |
| 信託受益権の売却による収入 | 597 | － |
| その他 | △21 | △26 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 58 | △666 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | 2,037 | △29 |
| 長期借入れによる収入 | 456 | 303 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,442 | △998 |
| 配当金の支払額 | △326 | △335 |
| その他 | △31 | △41 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 693 | △1,101 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △55 | △40 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △42 | △300 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,116 | 4,053 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 5,074 | 3,752 |

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他（注）１ | 調整額（注）２ | 四半期連結損益計算書計上額（注）３ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 小型屋外作業・農業用管理機械 | 一般産業用機械 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 34,602 | 2,623 | 37,226 | 8,404 | － | 45,631 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 22,196 | 1,748 | 23,945 | 2,743 | △26,689 | － |
| 計 | 56,799 | 4,372 | 61,171 | 11,148 | △26,689 | 45,631 |
| セグメント利益又は損失（△） | 1,318 | △215 | 1,102 | 3,266 | △2,101 | 2,268 |

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にアクセサリーおよびアフターサービス用部品の販売に係わる事業を含んでおります。

２．当第２四半期連結累計期間におけるセグメント利益の調整額△2,101百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他（注）１ | 調整額（注）２ | 四半期連結損益計算書計上額（注）３ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 小型屋外作業・農業用管理機械 | 一般産業用機械 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 34,215 | 4,956 | 39,172 | 8,093 | － | 47,265 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 20,801 | 3,716 | 24,518 | 2,628 | △27,147 | － |
| 計 | 55,017 | 8,673 | 63,690 | 10,721 | △27,147 | 47,265 |
| セグメント利益 | 1,484 | 197 | 1,682 | 2,935 | △1,917 | 2,700 |

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にアクセサリーおよびアフターサービス用部品の販売に係わる事業を含んでおります。

２．当第２四半期連結累計期間におけるセグメント利益の調整額△1,917百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。